

米国 Mesa Labs社 Omaha Manufacturing Facility  
 バイオロジカル・インジケータ セルフコンテインド型  
 Pro Test 製品説明



### 使用目的

滅菌対象物の滅菌効果判定

### 製品種類

対象滅菌器	商品コード	菌種	菌濃度
ガス滅菌 (EtO)	PT-1-6-100	<i>B. atrophaeus</i>	Log 6
高圧蒸気滅菌	PT-3-5-100	<i>G. stearothermophilus</i>	Log 5
	PT-3-6-100	<i>G. stearothermophilus</i>	Log 6

### 製品仕様

プロテスト型バイオロジカル・インジケータ (BI) は、プラスチック製の一次包装容器・キャップ・フィルター及び培地が入っているガラス製アンプル・孢子(菌)を吸着させてある担体の5部品から構成され、それらが一体化されております。  
 これにより、滅菌操作終了後行われる培養が容易に出来ます。

### 使用方法

本製品のプラスチック製一次包装容器及び培地が入っているガラス製アンプルが破損している製品は使用しないで下さい。

滅菌庫内の滅菌されにくい数カ所に出来る限り水平に設置して下さい。

滅菌終了後は熱を冷まし庫内から取り出して下さい。

滅菌庫内から取り出した BI にクラッシャーを使用し写真①②の様にプラスチック容器を入れ写真③の様に容器の胴体部分を強く押して培地が入っているガラス製アンプルを割って担体の全体が培地に浸かっている状態で培養に回して下さい。



写真①



写真②



写真③

## 判定用培養

プラスチック容器のまま垂直に立てて培養して下さい。

培養温度及び判定時間は、孢子菌体の種類によって異なります。

<i>B. atrophaeus</i>	EtO ガス滅菌	30～35℃	48 時間
<i>G. stearothermophilus</i>	高圧蒸気滅菌	55～60℃	24 時間

## 効果判定

培養開始後、培養判定時間以内で有っても培地の色に変色した場合滅菌が不完全ですので直ちに培養を中止して下さい。

また培養判定時間後、培地の色が変わらなければ滅菌が完全で有る事を意味します。

培養結果を正確に知る目的で、滅菌されていないインジケータ 1 本をコントロール用として常時使用（培養）される事をお勧め致します。

## 注意事項

滅菌終了後、火傷防止の為、十分冷ましてから作業して下さい。

使用済みの製品は、必ず滅菌後廃棄処分して下さい。

一度使用した製品は再使用出来ません。

プラスチック容器及びガラス製アンプルが破損している製品及び有効期限が切れた製品は使用しないで下さい。

使用前に必ず菌種、菌濃度、有効期限などをご確認下さい。

滅菌確認試験後は、必要事項を記録すると共にその保存を確実に実施する事をお勧め致します。

## 保存方法

15℃～27℃で、30～70%RH の湿度で、遮光保存して下さい。

滅菌剤・消毒剤・直射日光・UV 等を避け、冷蔵及び冷凍保存はしないで下さい。

レーベン・ジャパン株式会社

〒343-0827

埼玉県越谷市川柳町 3-110-8

TEL : 048-961-1781

FAX : 048-961-1782

<http://raven-japan.jp/>